



ヒューマンキャピタル2018参加者様限定 特別コンテンツ

このコンテンツは

ヒューマンキャピタル2018参加者様への限定公開となっております。

本コンテンツの複製(2ページめの視覚シートを除く)・転載・

流用・転売・複写等をご遠慮ください。

<使い方>

1. 2ページ目の「視覚シート(表)」を印刷する
2. 3ページ目の「視覚会議BASIC カードマニュアル(裏)」に記載の「書き方の手順」を参考に、視覚シートにアイデアを広げる。

視覚会議公式サイト <http://shikaku-kaigi.jp/>

【お問い合わせ先】[株式会社HackCamp\(視覚会議 販売代理店\)](#)

視覚シート(表)

要回収 このシートは会議終了後に回収させていただきます。

6 観点カード

ヒト



ターゲット、能力、
立場・役割、
ステークホルダー

モノ



製品、素材、ツール、
構成要素、機能、
ソリューション

プロセス



ヒト・モノの動き、
金・情報の流れ、
行動・動作、相互作用

環境



場・空間、時間、
風土、状況、
コミュニティ

意味・価値



知識、情報、
思考、価値観、
ビジョン、強み

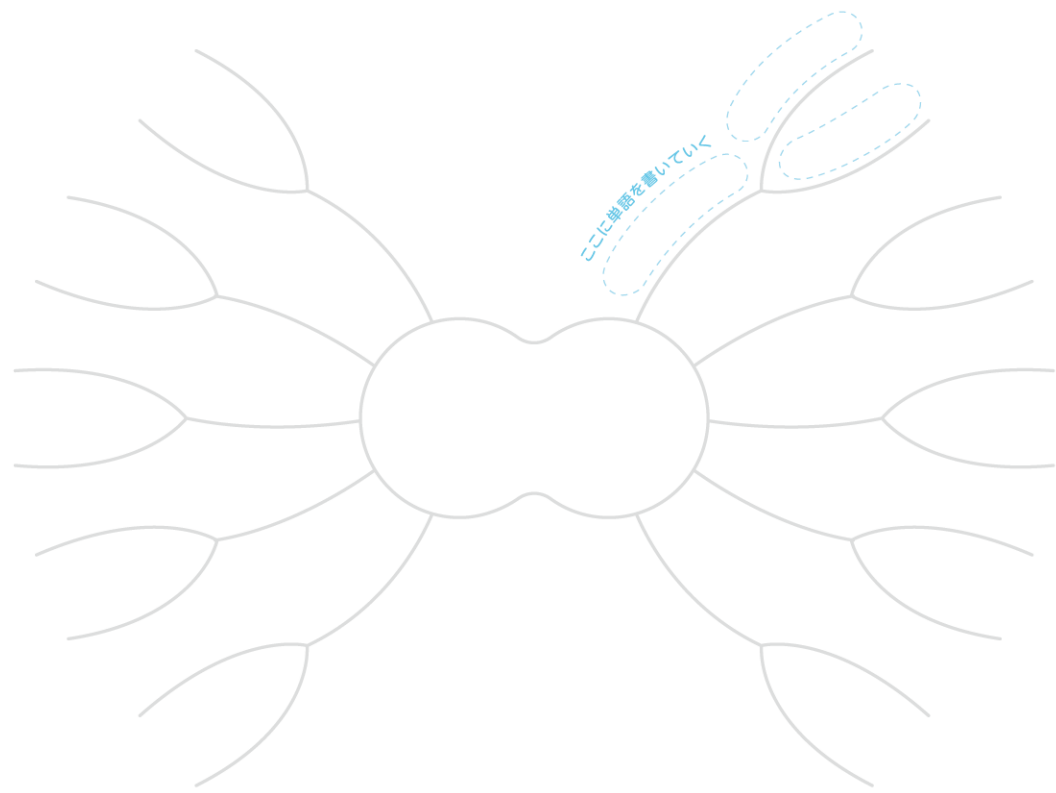
五感



見える、
聞こえる、
感じる、感情

©Rikie Ishii/アイデアブランド

キーワード記入欄				



部署

名前

キーワード作文記入欄

視覚会議BASICとは

- 視覚会議BASICは、多様な参加者ととも、50分間で合意形成ができる会議運営メソッド
- 方針が定まっていないテーマに対しての論点が明確になり、参加者全員が納得し行動につながるビジョンやゴールが生まれる

視覚シートとは

目的

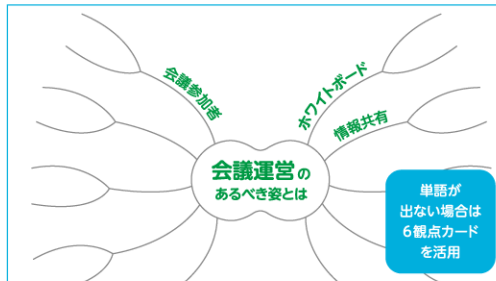
視覚会議BASICでは最初に「視覚シート」を使った個人ワークに取り組んでいただきます。目的はテーマの「あるべき姿／ありたい姿」を具現化するため、それぞれのアイデアを広げ、考えや意見を発表しやすくすることです。

書き方の手順 ※目安：5分間

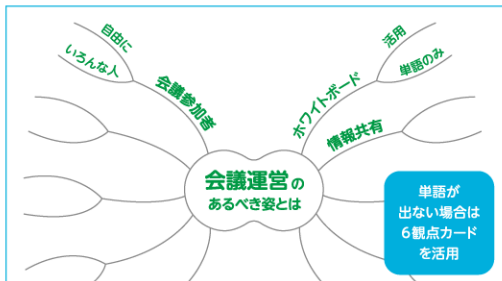
- 1 中心部にテーマを書く
(例題:会議運営のあるべき姿とは)



- 2 テーマに対して必要な視点を、枝の上に単語で記入する
(第2階層まで書いてもよい・6観点カードも活用する)



- 3 テーマがより具体化されるよう、6観点カードを用いてさらに単語を広げていく(6観点で抜けている視点がいないかを意識するとよい)



6観点カードの活用方法

6観点カードはさまざまな角度から物事をとらえ、多様なアイデアを生み出すためのツールです。『ヒト』『モノ』『プロセス』『環境』『意味・価値』『五感』の6つの観点が用意されています。

活用事例：会議運営のあるべき姿とは

ヒト	モノ	プロセス
 ターゲット、能力、立場・役割、ステークホルダー	 製品、素材、ツール、構成要素、機能、ソリューション	 ヒト・モノの動き、金・情報の流れ、行動・動作、相互作用
例: 会議参加者 ファシリテーター 多様性	例: ホワイトボード 議事録 テレビ会議	例: 情報共有 会議プロセス アクションプラン
環境	意味・価値	五感
 場・空間、時間、風土・状況、コミュニティ	 知識、情報、思考、価値観、ビジョン、強み	 見える、聞こえる、感じる、感情
例: 短時間 全員発言 社外	例: 成果が出る チームの強みが活きる 成長できる	例: 見える化 楽しい リラックスできる

コツとヒント

- 「あるべき姿／ありたい姿」が達成されたときの具体的な姿をイメージしながら広げていく
 - 達成された状態/理想の姿を(現状にとらわれずに)考える
 - 現状の課題や問題点は考えない
- 枝のすべてを埋める必要はない
- 単語を書く場所が偏っていても問題ない

単語で書くメリット

- 短時間で書ける
- 表現しにくい内容も簡単に書ける
- 一つの単語から次の単語へと、考えや意見を広げやすい